

さんまは本年も記録的な大不漁

～「ぎょさい」と「積立ふらす」で備えを～

昨年から今年にかけて、さんまの記録的な大不漁が続いています。今年度は、漁場が沿岸から遠いこと、魚群が薄いこと、魚体が小さいことから、大不漁となった昨年来をさらに下回る、過去最低の水揚げ数量となる見込みです。水揚げ金額は昨年度を上回っているものの、平成26～30年の同時期の平均に比べ6割程度と極めて低い水準となる見込みです。

今年度のさんま棒受網の加入状況は、昨年の大不漁や新型コロナウイルスの感染拡大による影響に備えるため、契約内容の拡充が進みました。そのため今年度の支払は、昨年度よりも多くなる見込みです。さんまだけでなく、様々な魚種の不漁に対し「ぎょさい」と「積立ふらす」がセーフティネットとして機能し、漁業経営の支えになるものと考えております。

コロナ禍で経済は低迷し、魚価も大幅に下落しています。このような状況だからこそ、「ぎょさい」と「積立ふらす」をより多くの漁業者の方々に利用していただくために、来年も引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度の加入実績（11月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	今年度	前年度	前年	今年度	前年度	前年
漁獲共済	218,238	208,465	105%	14,100	12,271	115%
養殖共済	235,989	202,834	116%	10,098	7,412	136%
特定養殖共済	93,526	90,144	104%	3,379	3,180	106%
漁業施設共済	17,275	16,408	105%			
地域共済	11,866	9,894	120%			
合 計	576,894	527,745	109%	27,577	22,864	121%